26-01

上世屋定住促進協議会（かみせや）

上世屋 KAMISEYA

地域資源：上世屋のヒト、モノ全て
事業分野：農林業、狩猟、工芸、加工
事業主体：地域住民

○京都府北部・丹後半島の東南部に位置し、「にほんの里100選」にも選ばれた11世帯23人が暮らす小さな集落で、人口の７割を超す移住者が中心となって「上世屋の暮らし」の継承に取り組む。

基本情報

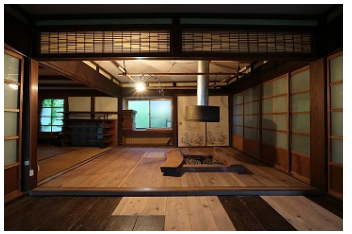
- 所在地：京都府宮津市
- 選定表彰：
  - ・第６回「ディスカバー農山漁村の宝」近畿農政局選定 (R1)
  - ・つなぐ棚田遺産選定
- イベント：
  - ・村人になるインターン
  - ・オンラインご飯会、上世屋キッチン
  - ・上世屋市（いち）、田んぼの生きもの調査
- 主力商品：
  - ・景観（棚田、里山）
  - ・農林産物（米、野菜）、加工品
  - ・ジビエ、クラフトビール
  - ・伝統工芸品（藤織り、和紙）
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）（H28）

取組の概要

○若手世代は全員が協議会の活動に参画。
○空家を改修した「セヤハウス」を拠点とした移住体験「村人になるインターン」（短期～１か月以上）の受入れや「暮らし」に不可欠な収支情報をHPに掲載し、定住に向けての確かなイメージを提供。
○暮らしを支える生業（なりわい）を創出するため、ジビエ処理施設なども建設。新商品の開発やECサイトで販路も開拓しつつ、上世屋産の魅力をイベントなどで発信。
○「上世屋の暮らしの継承」に賛同する移住者に向け、現地や都市部でイベントを開催。

村びとたち

生業を生み出す棚田


セヤハウスの内部

体制図

上世屋定住促進協議会

事業統括

- 空家や空き農地の活用、調整
- 生業創出（農業や狩猟など）
- 生業創出（加工、販売など）
- 情報発信

取組の成果

○取組開始から増加した若手移住者： 3人（R4.12月現在）
○交流人口： 93人（H28）→ 310 人（R4.12月現在）
セヤハウス利用100人、オンラインご飯会40人、上世屋キッチン40人、上世屋市100人、田んぼの生きもの調査30人
○村人になるインターン：延べ100人（R4.12月現在）
H30:21人、R1:18人、R2:28人、R4:33人

ウェブサイト▶https://kamiseya.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

26-02

京都おぶぶ茶苑合同会社

地域資源：農林水産物、景観、日本茶文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信、イベント
事業主体：町、生産者、茶畑オーナー、国際日本茶協会

○宇治茶生産地にて日本茶の通信販売・輸出するほか、茶畑オーナー制度によりファンを創出。インバウンド向け茶畑ツアーやオンライン教育にも取り組み、国内外に関係人口を創出。

基本情報

● 所在地：京都府和束町

● 選定表彰：
・「食かけるプロジェクト2020」食かける賞
・第50回日本農業賞特別賞（R2）
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R3)

● 主力商品・イベント：
・お茶
・茶畑ツーリズム

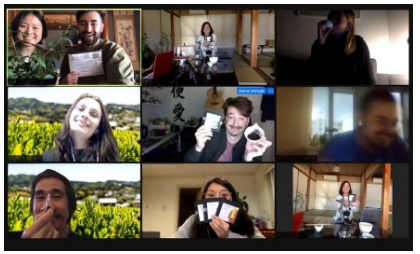
●活用した支援施策：
・事業再構築補助金（R3：経済産業省）
・JAPANブランド育成支援事業（R4：経済産業省）

取組の概要

○平成20年から日本茶の輸出に取り組み、世界116か国に茶葉を直送可能な体制を確立するとともに、年４回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」の取組を実施。
○茶産地を日本茶文化の体験型観光地として発展。平成24年からインバウンド需要に応え、外国人スタッフを雇用し多言語化も実現。
○世界中どこからでも茶農家から直接日本茶について学べるオンラインプログラム「Online Tea Education」を令和3年から開始。Withコロナ時代に発達したオンライン教育部門にも参入し、新たな日本茶のビジネスを展開。

オンライン茶摘みイベント

インバウンド茶畑ツアー


Online Tea Educationの様子

体制図

取組の成果

○輸出額の増加：900万円（H27）→　2,500万円（R2）
→　4,500万円（R3）
○ティーツアー参加者の増加：761人（H27）→　1,590人（R1）
→　150人（R3）→　2,000人超（R4見込み）
○茶畑オーナー：720名（R3）

ウェブサイト▶https://www.obubu.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

26-04

伊根浦地区農泊推進地区協議会

地域資源：農林水産物、舟屋、文化
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：協議会（町、農林漁業者、酒蔵、金融機関等）

○地域内に230軒立ち並ぶ舟屋を活用した宿泊施設と食事施設を整備。宿泊と食事を別施設で提供する「泊食分離」の実現によって宿泊施設の開業を促進。

基本情報

● 所在地：京都府伊根町

● 選定表彰：
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
ビジネス・イノベーション部門優秀賞
・第13回観光庁長官表彰（R3）

● 主力商品・イベント：
・舟屋を活用した農泊

● 活用した支援施策：
・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

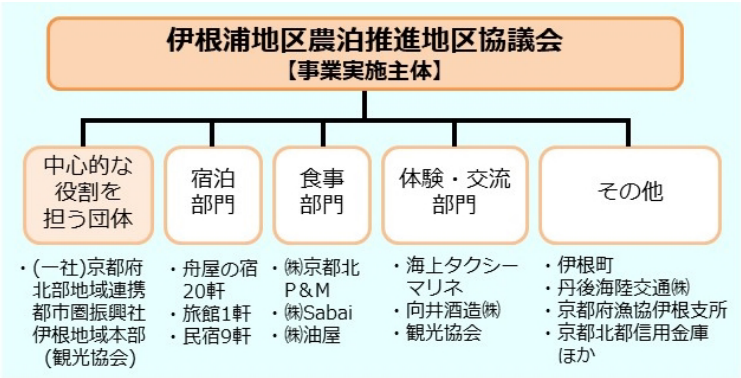
○平成30年に協議会を設立し、宿泊施設や飲食店などの観光関連施設だけでなく、生産者や金融機関など多分野の事業者と連携し、農泊を推進。
○生活の一部を切り取った体験として、個人宅での小さな漁業「もんどり」体験や漁具づくり体験、刺身づくり体験などを提供。海と寄り添った暮らしの中に息づく持続可能な日常を通じて、海の豊かさや魚介類の品質の良さを味わうことができる滞在型観光を推進。

伊根湾の「舟屋」

舟屋を改修した宿泊施設

小さなかご網漁「もんどり」体験

体制図



取組の成果

○宿泊施設の売上：約8千万円（H29）→　約1.9億円（R4）
○宿泊施設数　　：15軒（H29）　→　30軒（R4）
○のべ宿泊数　　：約6千人（H29）　→　約1万3千人（R4）

ウェブサイト▶https://www.ine-kankou.jp/first

この情報は令和5年6月時点のものです